

# 第1学年 英語科・保健体育科・情報科 学習指導案

## (1) 単元名

ストップ!薬物乱用 ロールプレイングで誘い断り表現を学ぼう

## (2) 目標

- 薬物に関する正しい知識を持ち、勧誘と断りの表現を用いて与えられたテーマについてのやり取りをすることができる。【英語/思・判・表】
- 薬物乱用の心身の健康に与える影響及びその対策について理解することができる。【保健/知】
- SNSなどの危険な一面を自分事として知り、どのようにすればよいかを理解している。【情報/知・技】
- テキストデータの分析の方法について理解している。【情報/知・技】
- 積極的に課題に取り組み、学んだことを生活や今後の学習に生かそうとしている。【情報/態】

## (3) 展開Ⅰ(1時限目)

過程	学習活動	指導上の留意点	備考
導入 (10分)	1. Greeting 2. Small Talk 「人を誘う表現(身近な話題)」	○ALTとJTEで例を出し、生徒がやり取りを考えやすいようにする。 →例: カフェに行ってお茶をしないかと誘う。	
	＝本時の目標＝ ・勧誘の表現、断りの表現を用いてやり取りができる。		
展開① 英語 (15分)	1. Role Playing に向けて 「誘いを断る表現(身近な話題)」 断るべき誘いを受けた時、どのように言えば良いか。	○Small Talkとはテーマを変え、社会的ルール(校則など)を破るようなものにし、断る状況を考えやすくする。 ○断る際にどのように言えば説得できるか考えさせる。	
	2. 勧誘と断りについて。	○Small Talkでの誘うシーンは好意的なものが多いが、はっきりと断るべきシーンがあり、それは薬物への勧誘であることを説明する。	
展開② 保健 (25分)	1. 高校生の薬物乱用状況について知る。	○資料を提示して、生徒の興味・関心を引きつける。	
	2. 薬物乱用についての動画を視聴する。	○主な薬物乱用に関する動画を視聴する。	
	3. 薬物乱用や開始要因、その対策について学習する。	○スライドを使用し、基本的な知識をワークシートに記入させる。	
	4. ALTと連携し、海外での現状について学習する。	○海外の国には大麻の使用が合法の国もあるが、日本では法律で禁止されていること、大麻の使用は体に有害なことを理解させる。	

展開Ⅱ(2時限目)

過程	学習活動	指導上の留意点	備考
展開③ 情報 (25分)	1. 近年の大麻の逮捕者数について調べる。	○偽サイトを使用させ、保健(英語)の中で学んだ知識を活かしてデータの違和感に気付かせる。	
	2. インターネットの情報の信ぴょう性や確かめ方について学習する。	○スライドを使用し、説明する。	
	あわせて、SNS が薬物乱用の入口になっていることを知り、危険性について考える。	○SNS がきっかけとなり、発生した事件などに触れながら、説明する。	
	3. もし、自分が薬物に手を出してしまうとしたら、どんなきっかけかを考える。	○生徒の回答を基にテキストマイニングを行い、自分たちがどんな誘い文句に弱いかを確認させる。	
展開④ 英語 (20分)	「もしも悩み相談をした時に部活の先輩から薬物を勧められたら」というテーマでロールプレイングを行う。 1. Small Talk で行った断りの表現・情報のテキストマイニングを振り返らせる。	○勧誘側と断る側に役を振る。 ○両方の立場を体験させる。 ○Key Expression を提示する。	
	2. 個人で考える・メモの時間を取る。	○必要な表現はスライド提示することで、やりとりらしくなるように促す。	
	3. 活動グループに分けペアを組み、ロールプレイングを行う。	○ロールプレイングはできる限り多い回数行う。	
まとめ (5分)	1. 勧誘の表現、断りの表現を用いてやり取りができたか。 2. 薬物が合法的な国もある中で、なぜ薬物乱用はいけないのか	○薬物乱用によって起こる身体的な影響についての理解を再確認する。	